

1 ティーランドからの景観が美しい、打ち降ろしのロングホール。

ストレートで緩やかな打降ろしのスターティングホール。フェアウェイ中央狙い。グリーンは右手前から攻めたい。



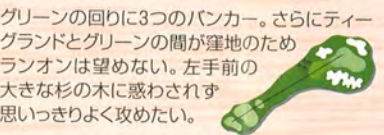
2 正確なロングショットが要求される、距離のあるミドルホール。

フェアウェイ右に2本松があるので、ティーショットは松を避け左サイドへ。第2打は正確なロングショットが要求される。



3 思いっきりよく攻め、スコアメイクにつなげたい。

グリーン周りの3つのバンカー。さらにティーランドとグリーンの間が窪地のためランオンは望めない。左手前大きな杉の木に惑わされず思いっきりよく攻めたい。



4 フラットだが緩やかな左ドッグレッグのミドルホール。

ティーショットのベストポジションは右のフェアウェイバンカー左横。グリーン左手前にバンカーがありピンポジションによって難易度が増す。



5 豪快な打ち降ろしのミドルホール。

ロングヒッターなら左サイド手前のバンカー越え、安全に打つなら右サイドバンカー横。フェアウェイのアンジュレーションに要注意。



6 打ち上げのミドルホール。正確な距離感に伴うクラブ選択が重要。

フェアウェイのアンジュレーションが美しい、やや打ち上げの短いミドルホール。ティーショットは右サイドに打ちたいが、フェアウェイ右の2本松に要注意。



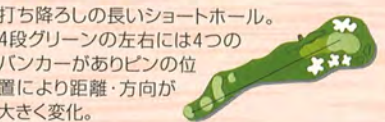
7 挑戦意欲をかきたてる、タフで距離のあるミドルホール。

ティーショットは右バンカー越えに、グリーン左手前にはダブルバンカーが。左下がりのライから、距離・方向とも正確なショットが要求される。



8 ティーショットのクラブ選択、方向性がキーを握る。

打ち降ろしの長いショートホール。4段グリーンは左右には4つのバンカーがありピンの位置により距離・方向が大きく変化。

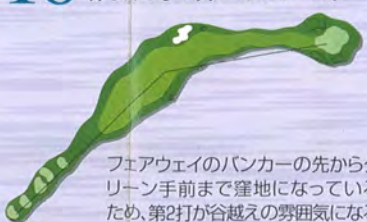


9 フェアウェイは広いが、左ドッグレッグのロングホール。

ティーショットはやや谷にかかるが、フェアウェイバンカーの右狙い。第2打以降は、クラブハウスに向かって緩やかに打ち上げていく。



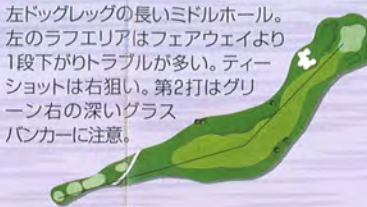
10 当コース最大の難関。打ち降ろしの長いミドルホール。



フェアウェイのバンカーの先からグリーン手前まで窪地になっているため、第2打が谷越えの勢弱気になる。ティーショットは左バンカー手前がベスト。クラブ選択がポイント。

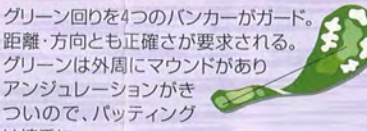
11 ラフエリアのトラブルに巻き込まれぬように、要チェック。

左ドッグレッグの長いミドルホール。左のラフエリアはフェアウェイより1段下がりがトラブルが多い。ティーショットは右狙い。第2打はグリーン右の深いグラスバンカーに注意。



12 谷越え気分の、ショートホール。

グリーン回りを4つのバンカーがガード。距離・方向とも正確さが要求される。グリーンは外周にマウンドがありアンジュレーションがきついため、パッティングは慎重に。



13 OBとバンカーを、いかに避けるかが攻略のポイント。

右サイドはOBでグリーンまでバンカーが並んでいるため、左からの攻めが安全。第2打は右コーナーのバンカー越えを。グリーンは縦長なので距離感を重視。



14 攻略ルートの選択が、スコアメイクにつながるミドルホール。

第1打は松越えがベストだが、松を避け左へ逃げ過ぎると、第2打は前下がりのバンカー越えになる。



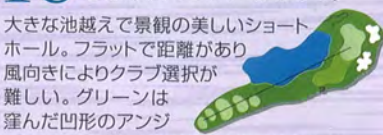
15 高低に変化のある左ドッグレッグの、ミドルホール。

第1打は緩やかで、第2打はきつめの打ち降ろしホール。ティーショットは正面バンカーの左狙い。打ち降ろしの第2打のクラブ選択・距離感がポイント。



16 池越えて、心理的なプレッシャーがかかる。

大きな池越えて景観の美しいショートホール。フラットで距離があり風向きによりクラブ選択が難しい。グリーンは窪んだ凹形のアンジュレーションのため、手前からの攻めが安全。



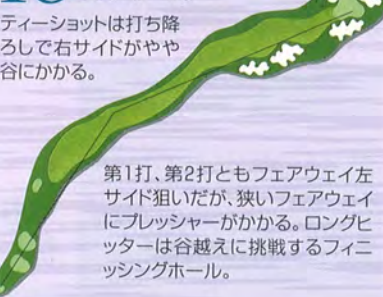
17 距離はやや短い、戦略性に富んだミドルホール。

やや左ドッグレッグで右サイドはOB。フェアウェイ全体にうねりが強く、第1打のランディングエリアの左右のクロスバンカーが要注意。3段グリーンのため第2打には距離感、クラブ選択が重要。



18 心理的なプレッシャーがかかる、ロングホール。

ティーショットは打ち降ろしで右サイドがやや谷にかかる。



第1打、第2打ともフェアウェイ左サイド狙いだが、狭いフェアウェイにプレッシャーがかかる。ロングヒッターは谷越えに挑戦するフィニッシングホール。